

「川内原子力発電所3号機増設計画に係る環境影響評価」の現況調査計画について

■ 現況調査の概要（主要な例）

大気環境

影響要因	調査項目	調査地点	調査期間
資材等の搬出入	窒素酸化物濃度	主要な道路沿い（8地点） ^{(注) ※1}	季節ごとに1回 (各1週間)
	交通量	主要な道路沿い（8地点） ^{※1}	平日の1日 (11月)
	騒音・振動		
建設機械の稼働・施設の稼働	窒素酸化物濃度	発電所構内（1地点） ^{※2} 発電所近傍（1地点） ^(注)	1年間連続
	騒音・振動	敷地境界（6地点） 周辺民家の近傍（6地点）	平日の1日 (11月)

(注) 1地点は県測定局のデータを使用
 ※1 県道川内串木野線（高江町）を追加
 ※2 作業船のばい煙の影響調査を追加

■大気環境（騒音・振動）調査例



陸生生物

■陸生生物（鳥類）調査例



影響要因	調査項目	調査地点	調査期間
地形改変	動物 ^{※5, ※6} 〔哺乳類, 鳥類, 爬虫類, 両生類, 昆虫類, 水生生物〕	対象事業実施区域 及び 周辺5km程度	調査時期は動物の種類に応じて設定
	植物	対象事業実施区域 及び 周辺1km程度	原則として 季節ごとに1回
	生態系 (上位種, 典型種)	対象事業実施区域 及び 周辺3km程度	調査時期は動物の種類に応じて設定

※5 カラフトワシ調査を追加
 ※6 水生生物調査（河川, 湖沼）を追加

水環境・海生生物

影響要因	調査項目	調査地点	調査期間
地形改変・施設の稼働他	水の汚れ ^{※3}	発電所の周辺海域 ^(注) 〔沿岸方向約20km〕 〔沖合方向約6km〕	季節ごとに1回
	浮遊物質		
	水温・塩分		
	流向・流速		
	残留塩素等		
	海生生物 ^{※4}		
	有害物質		任意の時期に1回

(注) 水温調査地点のうち1地点は1年間連続調査
 ※3 生活環境項目（pH等5項目等）、健康項目（カドミウム等24項目）等の調査を追加
 ※4 ウミガメの調査を追加

■海生生物（潮間帯生物）調査例



■発電所の景観（既設1, 2号機）



その他

影響要因	調査項目	調査地点	調査期間
地形改変	陸域地形 ^{※7}	対象事業実施区域内	任意の時期 〔波浪調査は 1年間連続〕
	海岸地形 ^{※8}		
	有害物質 ^{※9}		
施設の存在	景観	主要な眺望点（5地点）	季節ごとに1回
資材等の搬出入	人と自然との 触れ合い	主要な活動場（11地点） ^{※10}	利用状況に応じて設定

※7 保安林の機能等に関する調査を追加
 ※8 海岸変形を予測するため、波浪調査（波高, 波向, 流速）を追加
 ※9 埋立に使用する土砂の溶出試験を追加
 ※10 「水辺の楽校」（高江町）を追加

注1：※印は、経済産業大臣勧告、鹿児島県知事意見等を踏まえた、主な反映事項を示します。 注2：「対象事業実施区域」とは、発電設備、仮設プラントなどの関連施設の敷地を含む区域のことです。

■ 現況調査スケジュール

環境要素	調査項目	H18年度											H19年度				
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月				
大気環境	窒素酸化物 〔発電所構内〕 〔道路沿道〕	窒素酸化物	1年間連続観測（久見崎局）														
		風向・風速，日射量，放射収支量	1年間連続観測（発電所構内）														
	交通量																
	騒音・振動	騒音・振動，交通量															
水環境	水の汚れ	化学的酸素要求量等															
		水の濁り															
	水温	定点水温	1年間連続観測（発電所前面海域）														
		水温・塩分															
		流況															
	付着生物防止剤	残留塩素等															
	有害物質	底質															
その他の環境	陸域地形	測量															
	海岸地形	測量・波浪															
	有害物質	埋立に使用する土砂															
動物	陸生動物	陸生動物・重要種															
	海生動物	海生動物・重要種															
植物	陸生植物	陸生植物・重要種															
	海生植物	海生植物															
生態系	生態特性等	上位種：フクロウ 典型種：タヌキ、ニホンアカガエル															
景観	写真撮影等																
人と自然との触れ合いの活動の場	利用状況等																

■：1年間連続調査，■：季節ごとに調査，■：任意の時期に調査 ※調査時期は気象状況等により変更する場合があります。

■ 経済産業大臣勧告，鹿児島県知事意見への対応状況

	知事意見（25件）	当社の対応
1	埋立影響低減の検討	埋立は，極力小さくなるよう検討を実施 ■ 海岸変形予測のため，波浪調査（波高等）を追加実施
2	公有水面埋立土砂の溶出試験等	■ 埋立に使用する土砂の溶出試験を追加実施
3	工事車両による騒音影響低減の検討	資材等の輸送による騒音影響低減の検討を実施
4	必要に応じた評価項目の見直し等	新たな事実が判明した場合は評価項目の見直しを実施予定
5	作業船によるばい煙の影響の調査等	■ 作業船によるばい煙の影響の調査を追加実施
6	工事用仮設ヤード，土捨場等からの粉じん，濁水流出の調査等	■ 粉じん，海水の濁りの調査を実施
7	工事中の水質汚濁の環境基準項目，水生生物保全の環境基準項目の調査等	■ 生活環境項目，健康項目等の調査を追加実施
8	保安林の伐採等による影響の調査等	■ 保安林の機能等に関する調査を追加実施
9	準備書の記載について（その1） 評価手法等の選定の妥当性の記載について	選定理由を明確にして準備書に記載予定
10	準備書の記載について（その2） 環境保全措置の複数案の比較検討の実施	環境保全措置の妥当性の検討経過を準備書に記載予定
11	準備書の記載について（その3） 準備書のわかりやすい定量的な記載について	準備書の記載をわかりやすく定量的に記載予定
12	道路に面する地域における適切な騒音調査（面的な騒音評価）の実施	調査の結果，環境基準を超える場所については面的な評価を追加実施予定
13	施設稼働の水質汚濁の環境基準項目，水生生物保全の環境基準項目の調査等	■ 生活環境項目，健康項目等の調査を追加実施
14	海水淡水化装置からの排水による影響の調査等	■ 塩分濃度の調査を実施
15	水温，流況調査の適切な調査点の設定，鉛直方向の調査	■ 鉛直方向での水温，流況調査を実施
16	冷却水の取放水による卵・稚仔，プランクトンへの影響の調査等	■ 海生生物の分布状況の調査を実施
17	放水方式等の違いによる環境影響の総合的な比較検討及び餌料生物・卵・稚仔等への影響の調査等	準備書において比較検討の結果を記載予定 ■ 魚類，卵・稚仔等の調査を実施
18	稚アユ，シラスウナギ等への影響の調査等	■ 魚類，卵・稚仔の調査を実施
19	水中放水方式による水の濁りの影響の調査等	■ 浮遊物質量の調査を実施
20	付着生物防止剤等による影響の調査等	■ 残留塩素等の調査を実施
21	海岸地形への影響の調査等	埋立は，極力小さくなるよう検討を実施 ■ 海岸変形予測のため，波浪調査（波高等）を追加実施
22	カラフトワシへの工事車両による影響の調査等	■ カラフトワシの調査を追加実施
23	周辺の河川・湖沼の水生生物への影響の調査等	■ 水生生物の調査（2河川，4湖沼）を追加実施
24	ウミガメへの影響の調査等	■ ウミガメの調査を追加実施
25	海藻草類の定量的な調査等	■ 既存文献等も踏まえ，定量的な調査を実施

注：■：経済産業大臣勧告，■：方法書から追加実施，■：現況調査に関する事項

【参考】

環境アセスメントの手続きの流れ

